

生物多様性1:

いのち

生命のにぎわいとつながり

その素晴らしさを、親から子へ、そして孫へ

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性



ちば

平成21年度企画展

# 虫、魚、鳥、草、木、人



## 記念講演会

「地域サステナビリティと生物多様性」

古在豊樹 千葉大学前学長 客員教授

7月5日(日) 14:00-16:00

## 生物多様性シンポジウム

第1回/生物多様性保全研究の最前線

7月11日(土) 13:00-16:30

第2回/里山里海サブグローバル生態系評価・冬水田んぼ報告

7月18日(土) 10:00-16:00

第3回/生命のにぎわいとつながりを世界の子どもたちの未来へ

— 生物多様性条約締約国会議COP10に向けて —  
8月29日(土) 10:00-16:00

## 生きもののにぎわい子ども発表会・コンサート

8月1日(土) 13:00-16:30

2009. 7/4(土) ▶ 8/31(月)

主催: 千葉県立中央博物館・千葉県生物多様性センター

共催: ちば生物多様性県民会議・里山シンポジウム実行委員会・千葉県立中央博物館友の会

後援: 八都府市首脳会議 環境問題対策委員会 地球温暖化対策特別部会

千葉県生物学会・生物多様性Japan・(財)日本自然保護協会

協力: ポスターデザイン: 佐藤聡子/ 絵画提供: 大多喜町立老川小学校のみなさん/ 衛星画像: 東京情報大学

千葉県立中央博物館



# 虫, 魚, 鳥, .. 草, 木, ... 人

豊かな生命(いのち)に育まれる私たちの地球。約40億年に及ぶ生命の歴史は、この地球に多種多様な生物をもたらしました。私たちがその一員であり、その恵みの中で生活し、さまざまな文化を築いてきました。この生物多様性の世界を探りながら、その素晴らしさを守り、子どもたちのための未来へ伝えましょう。

## 1 生命の誕生・進化と地球環境の形成

生物の進化・絶滅の歴史は、生物多様性の増大とともに、豊かな大気や水などの環境をもたらした。

## 2 生物多様性ワールドの探求

地球上で記録された生物は160万種以上、生物多様性の世界を調査研究していくことは、将来のためにも重要である。

## 3 都市化・温暖化と生物多様性の危機

多くの動植物の絶滅・減少や外来生物の増加など、深刻な問題が、人間によって引き起こされている。

## 4 生物多様性の宝庫、里山・里沼・里海

かつての人々の暮らしは、地域の生物多様性を育み、自然と人間が調和・共存する持続可能な生態系を育んだ。

## 5 家のまわりの生物多様性

自然のリズムのなかでの人々の暮らしは、多くの動植物が生息・生育する環境をもたらした。

## 6 私たちの暮らしと生物多様性

里山、里海、野生動物、まちづくり、食、木材、水、燃料、田んぼ、米、森林療法、ゴミ問題等をみんなで考え展示する。

## 7 生物多様性を子どもたちの未来へ

生物多様性を「理解し」「守り」そして「活用する」ため、多くの人々が一体となった取り組みがはじまっている。



▲古生代の三葉虫



▲新生代第四紀のスミロドン



▲ニホンオオカミの剥製(和歌山大学所蔵)



▲歯が牙に変化したイッカク(クジラ類)雄の標本



▲絶滅危惧種フグジュウ



▲絶滅危惧種 シャープゲンゴロウモドキ



▲水期の遺存種ヒメコマツ



▲時田直善作「寧日鶴その3」(市原市所蔵) 昭和23年に千葉に飛来したトキの姿

## ●関連行事

### ★生物多様性入門講演会「生物多様性とは」

8/22(土) 13:30-14:30

(当日先着200名)

### ★体験イベント「押し花でうちわとおりを作ろう」

7/25(土)、8/2(日) 10:00、13:00 (各2時間)

(小学生以上、3年生以下は保護者同伴)

- 南房総の海辺と森を歩く 7/11(土)※
- 昆虫標本の作り方 7/20(祝)※
- 夏の山の昆虫 7/25(土)※、26(日)※
- 川の生きもの 7/25(土)、8/22(土)
- 景観を探る 7/25(土)、8/29(土)
- 夏の昆虫 8/9(日)※

- 生態園観覧会 7/19(日)、20(祝)、8/20(木)、22(土)※
- ミュージアムトーク(生物多様性関係) 7/4(土)、5(日)、12(日)、18(土)、19(日)、20(祝)、26(日)、8/8(土)、9(日)、22(土)、23(日)、29(土)、30(日)

※印は要事前申込み 【関連行事の開催場所、時間等はお問い合わせください。】

## ●生態園トピックス展

「舟田池のカイツブリ・小さながんばりやさん」

6/9(火)-8/30(日)

## 秋の展示 生物多様性2：人と自然のかかわり

「縄文の躍動 -海と生きた人々の文化-」 9/26(土)-11/23(祝)

●開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

●休館日 この企画展開催期間中、本館は7/6(月)と7/13(月)のみ休館します。また、生態園は7/20(祝)以外の月曜日と7/21(火)はお休みします。

●入場料 一般500円(400円) 高校・大学生250円(200円) カッコ内は20名以上の団体料金、生態園は無料です。

※次の方は入場無料です。中学生以下/65歳以上の方(年齢を示すものを提示) 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方(手帳を提示)及び介助者

### ●交通案内

#### 【電車・バスをご利用の場合】

- JR千葉駅(京成千葉駅でも可)東口7番乗り場から京成バス「大学病院」、「大学病院・南矢作」行き、同6番乗り場からはシティバス「川戸都苑」行きで約15分。「中央博物館」バス停下車、徒歩7分。(本数多い)
- JR千葉駅(京成千葉駅でも可)東口2番乗り場から千葉中央バス「中央博物館」行きで約20分。終点の「博物館・文化ホール」バス停下車、徒歩1分。(本数少ない)
- JR蘇我駅東口2番乗り場から小湊鉄道バスまたは千葉中央バス「大学病院」行きで約15分。「中央博物館」バス停下車、徒歩6分。(本数少ない)
- 京成千葉寺駅から徒歩約20分。(蘇我駅からのバスは千葉寺駅を経由します)

#### 【自動車をご利用の場合】

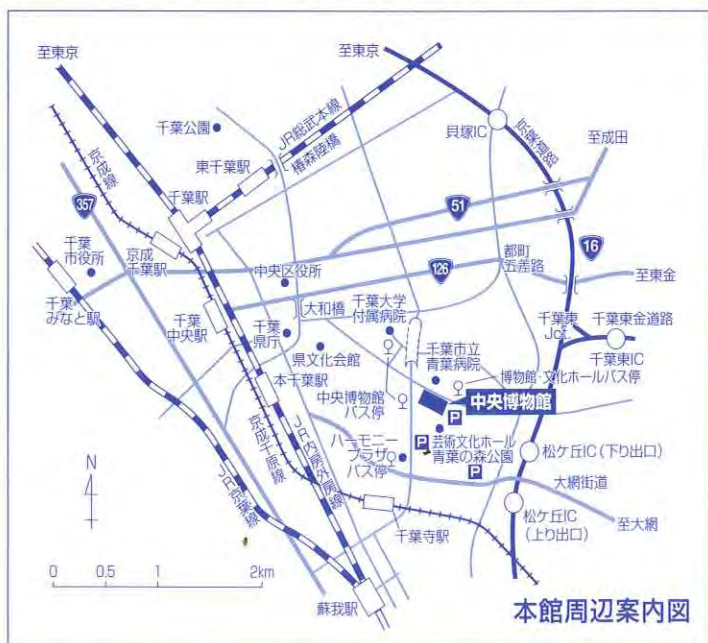
- 京葉道路「松ヶ丘」インターから大網街道を市街地方面へ。「県立千葉の森公園北口駐車場」の利用が便利です。(駐車場は有料です)

# 千葉県立中央博物館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内)  
電話 043-265-3111(代表) FAX 043-266-2481  
ホームページ <http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>



モバイルサイト



本館周辺案内図